

燕市の令和元年度農業産出額(推計)の県内順位及び全国順位

出展：作付面積は燕市農業再生協議会令和元年度作物作付状況(実績)
農林水産省大臣官房統計部

- (1) 「米」の主食用水稲作付面積 3,776.7 ha、産出額は 59 億 2 千万円
県内順位は 9 位、全国順位は 44 位

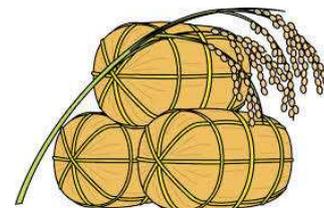
(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	1	1,501

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	3,294
2	長岡市	1,573
3	上越市	1,408
4	新発田市	1,051
5	阿賀野市	708
9	燕市	592



- (2) 「きゅうり」の作付面積 7.4 ha、産出額は 1 億 3 千万円
県内順位は 2 位、全国順位は 205 位

(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	24	17

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	88
2	燕市	13
3	三条市	4
4	長岡市	6
5	十日町市	6



(3) 「トマト」の作付面積 8.0 ha、産出額は 1 億 3 千万円
 県内順位は 4 位、全国順位は 326 位



(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	23	25

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	94
2	津南町	58
3	妙高市	21
4	燕市	13
5	村上市	11

(4) 「ねぎ」の作付面積 6.4 ha、産出額は 1 億 2 千万円
 県内順位は 5 位、全国順位は 237 位



(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	19	25

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	103
2	村上市	24
3	新発田市	21
4	胎内市	20
5	燕市	12

(5) 「キャベツ」の作付面積 4.1 ha、産出額は 1 億円
 県内順位は 2 位、全国順位は 122 位



(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	21	7

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	21
2	燕市	10
3	三条市	9
4	津南町	7
5	上越市	5

(6) 「日本なし」の産出額は 3 千万円、県内順位は 4 位、全国順位は 271 位

(参考)

■新潟県の全国順位

	全国順位	産出額(億円)
新潟県	11	21

■県内順位

県内順位	市町村	産出額(千万円)
1	新潟市	112
2	加茂市	51
3	三条市	11
4	燕市	3
5	聖籠町	3



令和 元 年 市町村別農業産出額(推計)データベース(詳細品目別)

農林水産省大臣官房統計部
令和3年6月15日 掲載

年	都道府県名	市町村名
令和元年	新潟	燕市

単位:産出額(1,000万円)

区分	産出額計 ①+②+③	耕種計 ①	米	麦 類				雑 穀		豆 類			い も 類			
				計	小麦	二条大麦	六条大麦	はだか麦	計	そば	計	大豆	小豆	計	ばれいしょ	かんしょ
産出額	727	701	592	0	x	-	-	x	0	0	6	6	0	3	3	0
順位 県内	13	11	9	7	5				20	20	7	7	14	19	14	20
順位 全国	397	229	44	686	563				660	631	215	154	490	461	287	842

区分	計	野										菜							
		だいこん	にんじん	さといも	やまのいも	はくさい	キャベツ	ほうれんそう	レタス	ねぎ	たまねぎ	ブロッコリー	きゅうり	なす	トマト	ピーマン	いちご	メロン	すいか
産出額	90	1	0	3	0	2	10	6	3	12	2	1	13	7	13	0	x	0	0
順位 県内	10	14	18	6	20	3	2	2	2	5	4	5	2	5	4	19	11	21	17
順位 全国	562	560	750	218	745	302	122	242	200	237	236	374	205	216	326	911	681	668	643

区分	計	果										実				花き
		みかん	りんご	ぶどう	日本なし	西洋なし	もも	おうとう	びわ	かき	くり	うめ	すもも	キウイフルーツ	パインアップル	
産出額	5	-	0	0	3	0	0	-	-	1	-	0	0	0	-	3
順位 県内	14		6	19	4	10	10			7		8	4	8		15
順位 全国	851		442	687	271	87	366			261		524	246	523		924

区分	計	工 芸 農 作 物				その他作物
		さとうきび	茶(生葉)	てんさい	こんにゃくいも	
産出額	0	-	-	-	-	0
順位 県内	22					15
順位 全国	827					1283

区分	畜産計 ②	肉用牛	乳 用 牛			豚	鶏	鶏		その他畜産物	加工農産物		
			計	生乳	乳牛			計	鶏卵		プロイラー	計 ③	荒茶
産出額	27	2	3	x	x	14	9	x	x	-	-	-	-
順位 県内	18	18	23	23	23	13	10	11	7				
順位 全国	929	1033	990	958	1027	432	510	507	271				

〔利用上の注意〕

市町村別農業産出額(推計)は、推計年の生産農業所得統計(都道府県別)において推計した都道府県別農業産出額(品目別)を2020年農林業センサス又は推計年産の作物統計調査を用いて市町村別に按分し作成しました。
このため、各市町村における農業産出額の実態が十分に反映されない場合がありますので留意下さい。具体的な推計方法は次のとおりです。

(算式)

$$\text{都道府県別農業産出額} \times \frac{\text{市町村別作付面積(飼養(出荷)頭羽数)等}}{\text{都道府県別作付面積(飼養(出荷)頭羽数)等}}$$

なお、野菜・果実の品目については、農林業センサスにおいて露地又は施設の作付面積等が秘匿されている場合、公表されている露地又は施設のいずれか一方の作付面積を用いて推計しています。

詳細はこちら → [\[市町村別農業産出額\(推計\)\]](#) (農林水産省HPへリンク)

- 注: 1 市町村別農業産出額は、都道府県別農業産出額で算出している一部の品目が作成対象外のため、都道府県内の市町村別農業産出額を積み上げて都道府県農業産出額とは必ずしも一致しません。
2 秘密保護の観点から、統計数値を公表していないものを「x」で表示しています。
3 事実不詳又は調査を欠くものを「…」で表示しています。
4 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

燕市の農業の現状

～ 農林業センサス調査の結果から ～

燕市農業振興協議会

令和4年1月27日

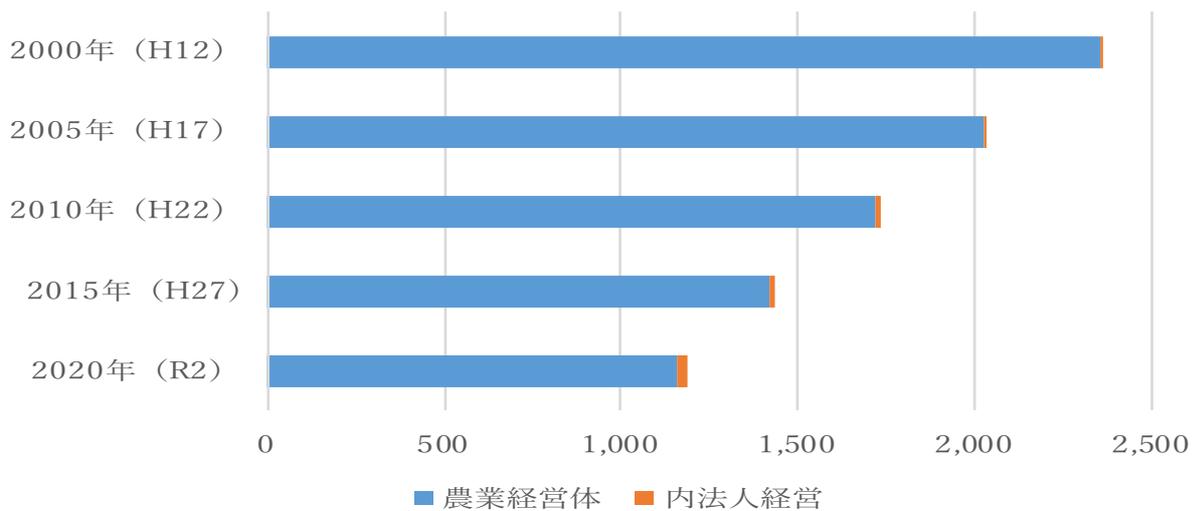
1 農業経営体

(1) 農業経営体数

農業経営体数は、1,159 経営体で、前回調査に比べて 259 経営体(△18.3%)減少しました。
また組織形態別にみると、法人化している経営体は 26 経営体で、前回調査に比べて 5 経営体(23.8%)増加しました。

(単位:戸)

	農業経営体	
		内法人経営
2000年(H12)	2,354	7
2005年(H17)	2,024	8
2010年(H22)	1,718	14
2015年(H27)	1,418	21
2020年(R2)	1,159	26



■農林業経営体

農林業経営体は、①、②又は③のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

- ① 経営耕地面積が 30a以上の規模の農業
- ② 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業
- ③ 農作業の受託の事業

■法人経営体

農事組合法人、会社(株式会社、有限会社)、合名・合資会、合同会社など

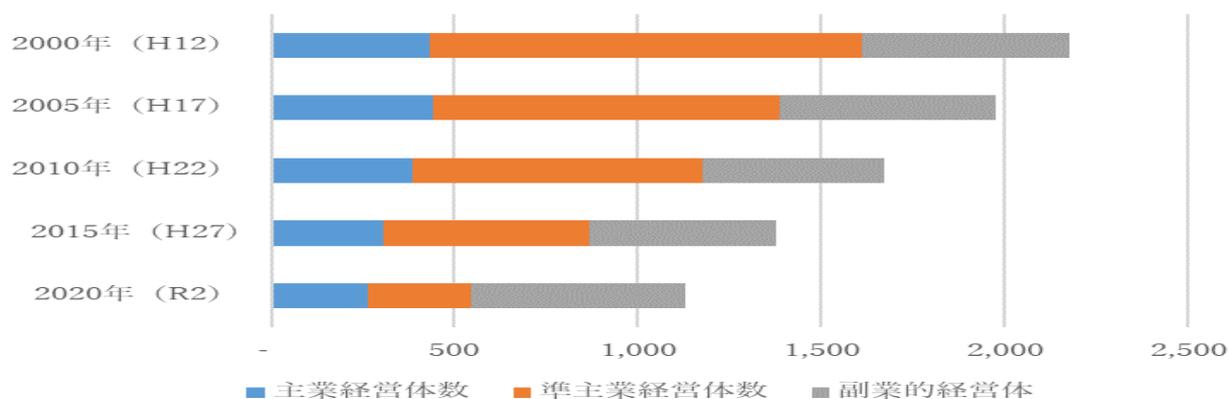
(2) 主副業別経営体数

個人経営体の主・副業別内訳は、主業経営体が 266 経営体で前回調査に比べて 40 経営体(△13.1%)減少しました。

準主業経営体は 277 経営体で 285 経営体(△50.7%)の減少、副業的経営体は 585 経営体で 77 経営体(15.2%)増加しました。

(単位:経営体)

	計	主業経営 体数	内 65 歳未 満の農業 専従者か いる	準主業経 営体数	内 65 歳未 満の農業 専従者か いる	副業的経 営体
2000 年(H12)	2,178	430	309	1,181	336	567
2005 年(H17)	1,977	442	324	946	283	589
2010 年(H22)	1,669	385	288	791	304	493
2015 年(H27)	1,376	306	209	562	209	508
2020 年(R2)	1,128	266	170	277	127	585



■主業経営体

農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

■準主業経営体

農外所得が主(世帯所得の50%未満が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。

■副業的経営体

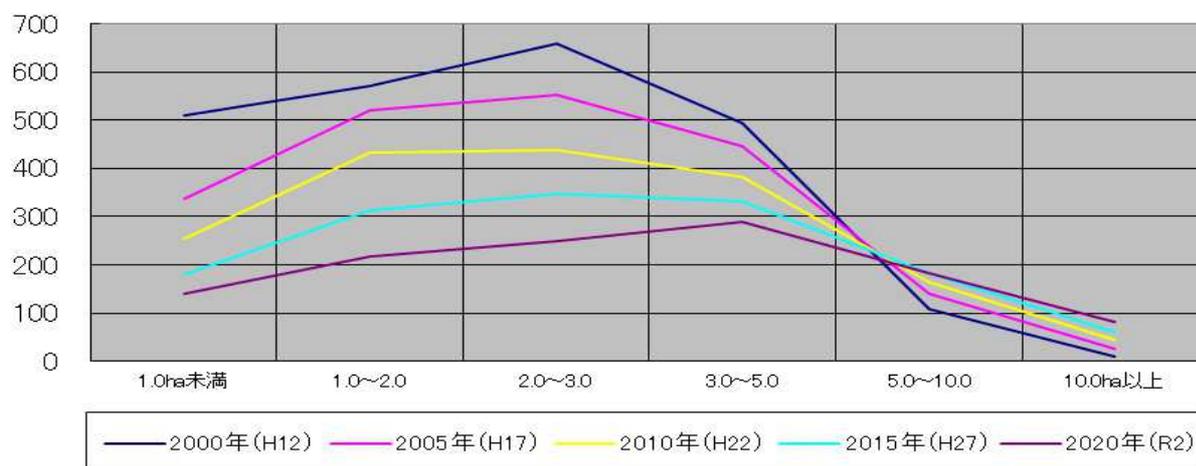
1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。

(3) 経営耕地面積規模別農業経営体数

経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、5ha以上の階層が前回調査より増加しているものの、その他の階層は減少しています。

(単位: 経営体、ha)

	計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0ha以上
2000年(H12)	2,354	511	572	658	494	108	11
2005年(H17)	2,020	336	521	552	446	139	26
2010年(H22)	1,717	254	434	438	382	164	45
2015年(H27)	1,418	181	313	347	333	183	61
2020年(R2)	1,159	140	217	249	288	184	81



■ 経営耕地面積規模別の農業経営体数

経営する耕地(田、畑及び樹園地の計)の面積をいい、客体が所有している耕地のうち貸し付けている耕地と耕作放棄地を除いたもの(自作地)に借りている耕地(借入耕地)を加えたものをいう。

(4) 農業経営体当たりの経営耕地面積

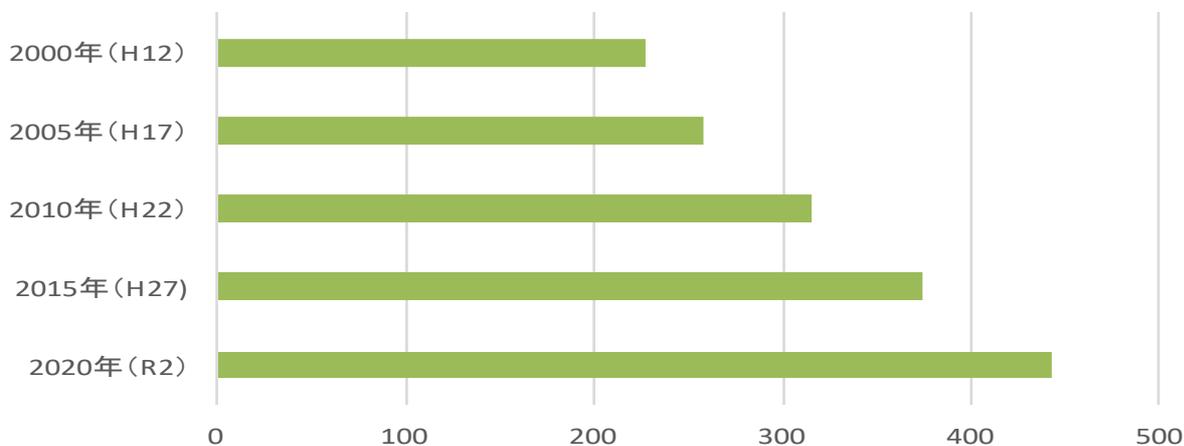
経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は443aで、前回調査に比べて69a(18.4%)増加しました。

また、経営耕地面積に占める借入耕地面積の割合は46.8%となり、前回調査に比べて6.6ポイント増加しました。

(単位:経営体、a)

	経営耕地のある経営体	経営耕地面積		1経営体当たり経営耕地面積
			内借入耕地面積	
2000年(H12)	2,354	535,500	90,500	227
2005年(H17)	1,976	510,687	106,043	258
2010年(H22)	1,692	535,008	177,554	316
2015年(H27)	1,398	522,777	210,317	374
2020年(R2)	1,144	507,331	237,288	443

1経営体当たり経営耕地面積



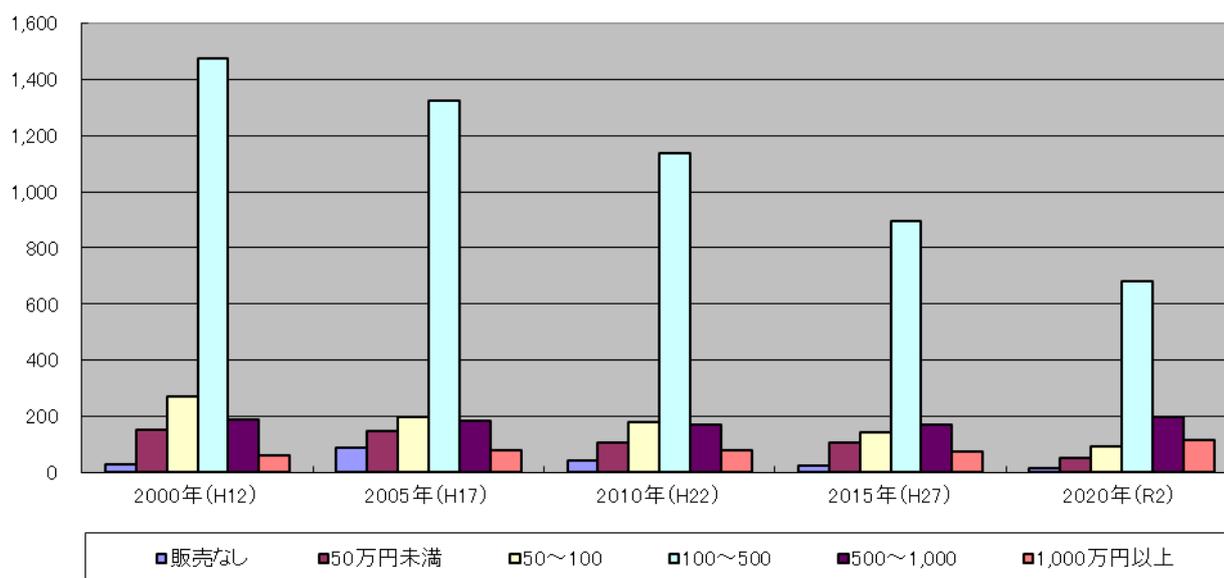
(5) 農産物販売金額規模別農業経営体数

農産物販売金額別に農業経営体数をみると、100～500万円の階層が682経営体と最も多くなっています。

また、前回調査と比べて500万円未満の各層が減少し、500万円以上の各層が増加しました。

(単位:経営体、万円)

	計	販売なし	50万円未満	50～100	100～500	500～1,000	1,000万円以上
2000年(H12)	2,178	29	153	271	1,474	188	63
2005年(H17)	2,024	89	147	198	1,326	183	81
2010年(H22)	1,717	43	105	181	1,139	170	79
2015年(H27)	1,418	26	105	145	895	170	77
2020年(R2)	1,159	16	54	93	682	198	116



■ 農産物販売金額

肥料代、農薬代、飼料代等の諸経費を差引く前の売上金額(消費税を含む。)をいう。

2 農家

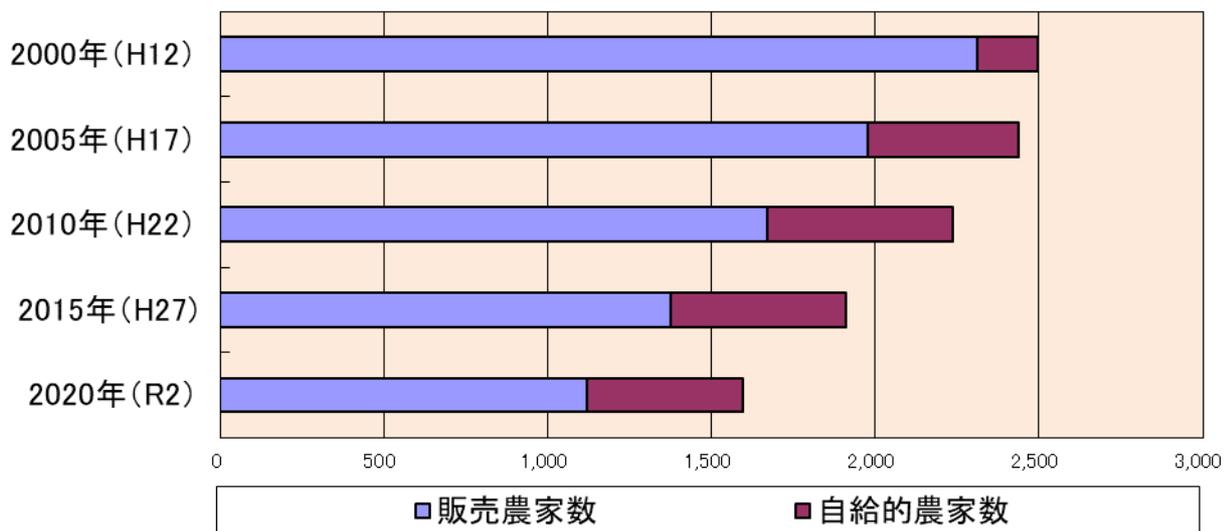
(1) 総農家数

令和2年2月1日現在の総農家数は1,596戸となり、前回調査に比べて316戸(△16.5%)減少しました。

このうち、販売農家数は1,121戸で、前回に比べ255戸(△18.5%)、自給的農家数は475戸で、前回に比べ61戸(△11.4%)減少しました。

(単位:経営体)

	総農家数	
	内販売農家数	内自給的農家数
2000年(H12)	2,495	185
2005年(H17)	2,439	462
2010年(H22)	2,235	566
2015年(H27)	1,912	536
2020年(R2)	1,596	475



■販売農家

経営耕地面積が30アール以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

■自給的農家

経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

3 労働力

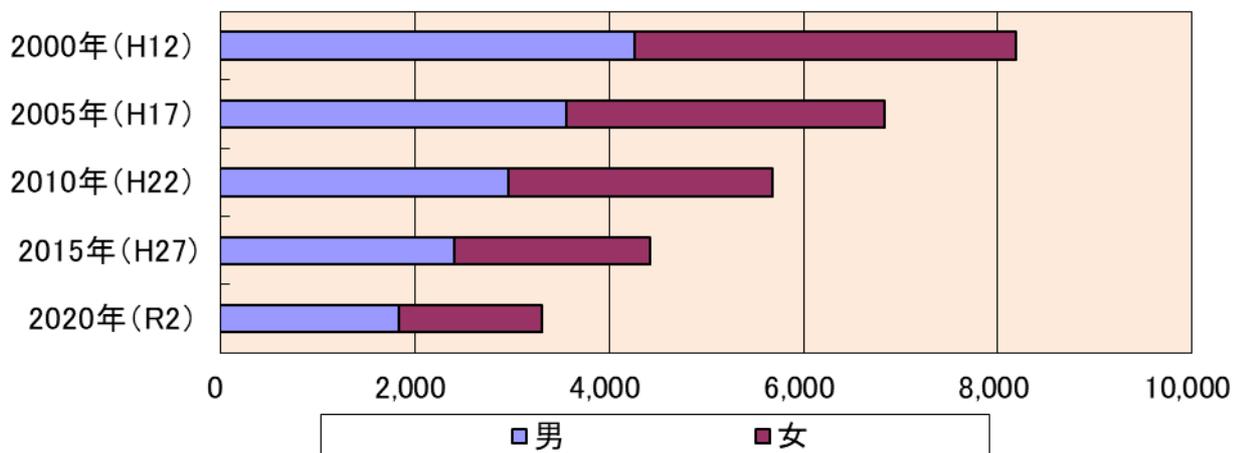
(1) 農業従事者数

個人経営体における過去1年間に農業に従事した者(農業従事者)は、3,310人で、前回調査に比べて1,108人(△25.1%)減少しました。

このうち男女別では、男性が1,840人、女性が1,470人で、前回調査に比べて男性が567人(△23.6%)、女性が541人(△26.9%)それぞれ減少しました。

(単位:経営体)

	計	
	内男	内女
2000年(H12)	4,267	3,915
2005年(H17)	3,563	3,277
2010年(H22)	2,969	2,714
2015年(H27)	2,407	2,011
2020年(R2)	1,840	1,470



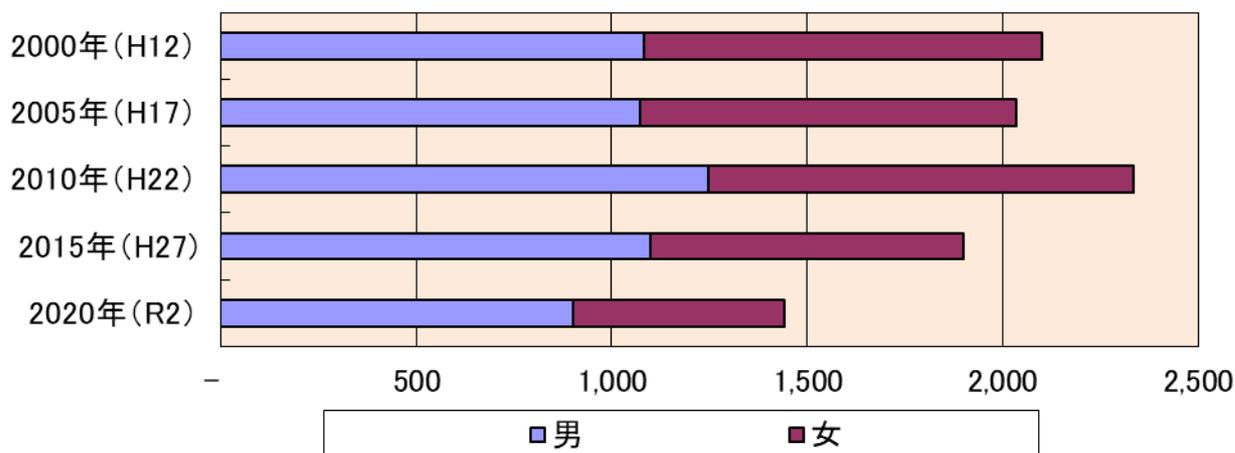
(2) 基幹的農業従事者

個人経営体における基幹的農業従事者は、1,441 人で、前回調査に比べて 457 人(△24.1%)減少しました。

このうち男女別では、男性が 902 人、女性が 539 人で、前回調査に比べて男性が 196 人(△17.9%)、女性が 261 人(△32.6%)それぞれ減少しました。

年齢階層別にみると、前回調査に比べて、各年齢層で減少しました。

	計	
	内男	内女
2000年(H12)	2,100	1,018
2005年(H17)	2,036	963
2010年(H22)	2,336	1,087
2015年(H27)	1,898	800
2020年(R2)	1,441	539



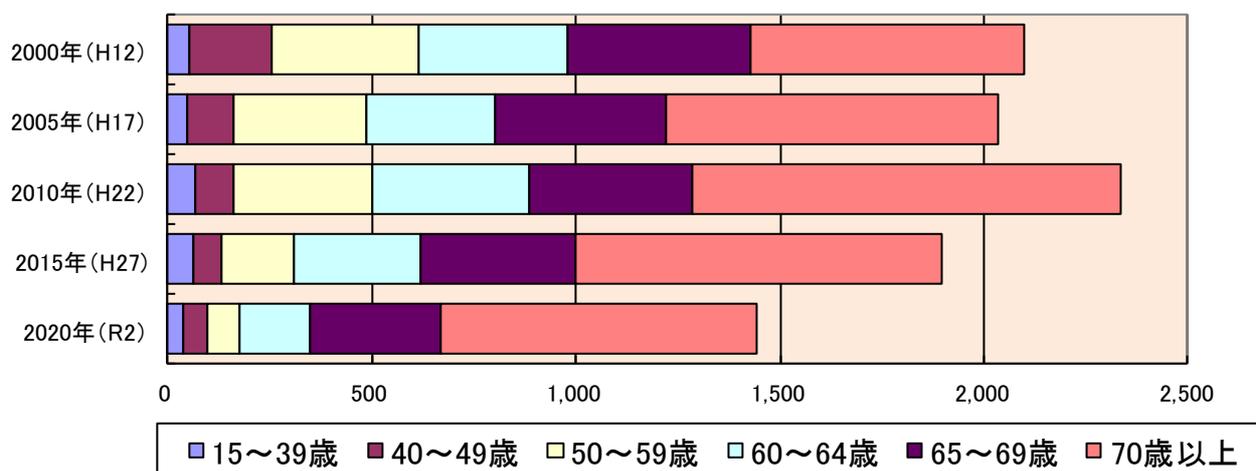
■ 基幹的農業従事者

15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

(3) 年齢別基幹的農業従事者数(販売農家)

(単位:経営体)

	計	15～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
2000年(H12)	2,100	55	200	361	362	450	672
2005年(H17)	2,036	46	114	326	316	420	814
2010年(H22)	2,336	67	96	339	386	399	1049
2015年(H27)	1,418	62	69	178	309	384	896
2020年(R2)	1,159	37	59	82	170	323	770



4 土地

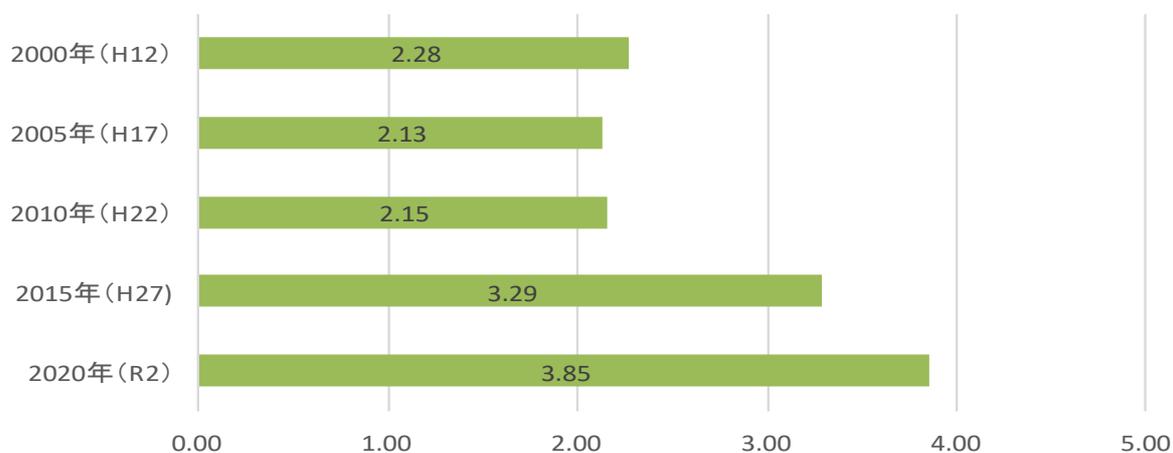
(1) 経営耕地面積(農業経営体)

農業経営体の経営耕地面積は 5,073ha で前回調査に比べて 155ha(△3.0%)減少しました。

(単位:経営体、ha)

	経営耕地のある経営体数	経営耕地総面積	一戸当たり経営耕地面積
2000年(H12)	2354	5355	2.28
2005年(H17)	2436	5182	2.13
2010年(H22)	2,227	4,795	2.15
2015年(H27)	1,374	4,520	3.29
2020年(R2)	1,116	4,301	3.85

一戸当たり経営耕地面積



5 農産物出荷先別経営体数

	計	農産物の販売なし	農産物の出荷先別											
			農産物の販売をした実経営体数	農協	農協以外の集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売	自営の農産物直売所	その他の農産物直売所	インターネット	その他の方法	その他
2005	2,020	85	1,935	1,833	132	170	63	11	361			0		39
2010	1,717	43	1,674	1,564	127	131	49	8	270			4		16
2015	1,418	26	1,392	1,279	139	116	57	14	163	17	55	9	98	71

6 農産物の売上1位の出荷先別経営体数

	計	農産物の売上1位の出荷先別						
		農協	農協以外の集出荷団体	卸売市場	小売業者	食品製造業・外食産業	消費者に直接販売	その他
2005	1,935	1,767	63	53	18	6	25	3
2010	1,674	1,506	65	53	17	-	30	3
2015	1,392	1,217	78	39	17	3	29	9